

このコーナーはPDF版では掲載していません。

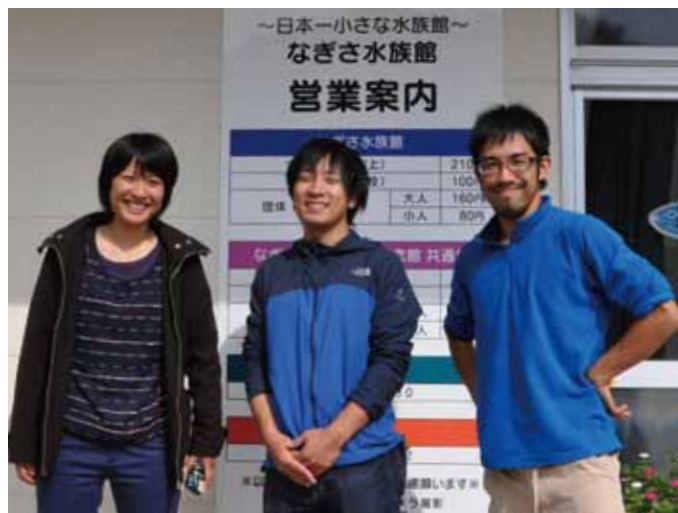
周防大島で新種のクラゲを発見！

なぎさ水族館の濱津芳弥飼育員、内田博陽飼育員と公益財団法人 黒潮生物研究所の戸篠 祥主任研究員が、2016年から2018年にかけて沖家室にて共同で採集したクラゲを精査した結果、新種のクラゲであることがわかり、学名を「*Caltsacoryne setouchiensis* (カルツァコリーネ・セトウチエンシス)」、和名を「シトウズクラゲ」と命名しました。(2021年9月6日に公表)

発見したシトウズクラゲは、冬から春にかけてみられるクラゲで、なぎさ水族館では毎年採集し、名前がつけられる前から展示しています。



▲発見された「シトウズクラゲ」。傘の高さが7mmほどの小さなクラゲ。



▲新種のクラゲを発見した濱津芳弥さん㊦、戸篠 祥さん㊦、内田博陽さん㊦ (なぎさ水族館提供：調査実施当時の写真)

シトウズクラゲを採集した濱津さんは、「飼育員が2人しかいない小さな世界の中でも、新しいクラゲを見つけることができたということはうれしい」「今後は長期展示を可能にしたい」と思いを話しました。

現在発見されているのは、世界でここだけ。靴下をはいているような触手をどのように使って泳ぐか、その目で確かめてみませんか？また、名前の由来など詳しく聞いてみませんか？